

デンマーク

Kingdom of Denmark

	2008年	2009年	2010年
①人口:556万人(2011年初)			
②面積:4万3,098k㎡			
③1人当たりGDP:5万6,147米ドル (2010年)			
④実質GDP成長率(%)	△1.1	△5.2	2.1
⑤貿易収支(デンマーク・クローネ)	424億8,000万	427億2,000万	508億1,300万
⑥経常収支(デンマーク・クローネ)	461億8,700万	590億2,800万	947億5,000万
⑦外貨準備高(米ドル)	404億6,580万	742億9,090万	735億280万
⑧為替レート(1米ドルにつき、 デンマーク・クローネ、期中平均)	5.0981	5.3609	5.6241

〔注〕⑤⑥:国際収支ベース

〔出所〕①②⑤⑥:デンマーク統計局, ③⑦⑧:IMF, ④:デンマーク財務省

2010年のデンマーク経済は、内外需ともに順調に推移し、実質GDP成長率は2.1%となった。貿易は、輸出入ともに増加し、輸出が輸入の伸びを上回った結果、貿易黒字が大幅に拡大した。対内直接投資では、金融、情報・通信部門で活発な活動が見られた。対外直接投資は情報・通信部門で大口の引き揚げがあり、金額は大きく減ったが、エネルギーや医薬品分野を中心として大型投資がみられた。対日貿易は、輸出が好調な一方、輸入は低迷し、貿易黒字が拡大した。日本からの投資では医薬品部門で大型の対デンマーク投資事例があった。

■ 輸出回復と堅調な個人消費により景気は回復基調

2010年のデンマークの実質GDP成長率は2.1%で、戦後最悪の成長率を記録した前年(マイナス5.2%)から回復した。前年に4.5%減と落ち込んだ個人消費が2.2%増と持ち直したこと、輸出(財・サービス)が3.6%増に回復(2009年は9.7%減)したことによる。しかし、総固定資本形成は4.0%減となり成長の足かせとなった。これは、2000年代前半まで経済の牽引役だった建設投資が11.6%減と前年の16.6%減に引き続き減退したためだ。建設投資は住宅以外の建物が16.5%減、住宅が9.4%減とともに不振だった。一方、民間設備投資は1.6%増、運輸部門の投資も3.8%増と回復を示した。

2009年に2.9%減とマイナスに転じた雇用者数は2010年も2.1%減と縮小し、失業率は7.4%に達した。2008年以降、大手企業を中心に人員整理が進んでいる。その一方で、高齢化に伴い公的介護施設の従事者を増やすなどの理由で、公務員数を2009年の83万人から2010年には84万3,000人に拡大したことから、失業保険受給者の増加等とあいまって、財政支出の拡大が問題視されるようになった。政府は2010年5月発表「経済回復計画」と2011年4月発表「改革プラン2020」を通じて財政支出抑制や失業者の就業支援などを実施し、2020年の構造的財政収支均衡をめざす方針だ。

2011年の経済について、財務省が2011年5月に発表した景気見通しによれば、個人消費が1.8%増と緩やかな伸びとなる一方、民間設備投資が6.1%増、住宅投資が2.6%増と大幅に回復することから実質GDP成長率は1.9%を予測している。失業率は7.2%と若干改善する見

込みだ。また、消費者物価上昇率は、2010年後半以降、原油と食品価格の高騰により急上昇、2010年には前年の1.3%から2.3%となったが、2011年は2.5%まで上昇するものと予想されている。

■ 貿易黒字は大幅拡大

2010年の貿易は、輸出が前年比9.8%増の5,442億5,100万デンマーク・クローネ(以下Dkr)、輸入は8.4%増の4,748億6,200万Dkrとなり、ともに回復基調となった。貿易収支は693億8,900万Dkrの黒字となった。黒字額は年々拡大している。

輸出を品目別にみると、最大の品目は全体の約4分の1を占める機械類で7.0%増となった。機械類の中では、一般機械(構成比6.8%)が8.5%増、電気・電子機器(3.8%)が15.9%増となり、好調な伸びを示した。一方、発電機(3.9%)は主な輸出先である米国向けが6.7%減、英国向けが6.9%減、ドイツ向けが22.2%減となった結果、5.7%減となった。なお、同品目中、最大の輸出品目は風力発電機だが、デンマーク風力発電協会によると「風力発電機の輸出は減少していない」という。風力発電機の一部には電気・電子機器に分類されているものがあり、例えばターンキー風力発電機は44.6%増と大幅な伸びを示した。2位の食料品(16.7%)は6.8%増と順調な伸びを示した。食品の約7割がEU27向けである。3位は化学品(16.2%)で15.9%増と好調だった。中でも医薬品(9.5%)は22.0%増と大幅な伸びを示したが、その背景として大手製薬会社ノボノルディスク、レオファーマ、ルンドベックの3社が新薬を発表した影響がある。新薬は各々、糖尿病薬、皮膚疾患薬、抗うつ剤で、3社とも高齢化に伴い需

要が拡大する成人に多い疾患を専門としている。医薬品の輸出相手国は金額順に米国、ドイツ、スウェーデンの順だった。デンマーク統計局によれば、医薬品以外の化学品としては、酵素、塗料、殺虫剤、洗剤類などが好調だったという。その他の品目では、原材料・エネルギー価格の上昇を反映して、原油・石油製品(7.5%)が20.8%増、原材料(4.4%)が34.8%増など、増加ぶりが目立った。

輸出を国・地域別にみると、EU27向けが64.4%を占め、国別では域内最大の貿易相手先であるドイツ向け(構成比16.8%)がトップで6.9%増となり、以下、スウェーデン向け(13.5%)が15.1%増、英国向け(7.9%)が2.3%増と続いた。ドイツ向けは品目別で比率の大きい順に、一般機械(6.3%)が6.1%増、衣料・繊維製品(5.7%)が22.7%増、肉・同調整品(5.2%)が9.4%増といずれも順調な伸びを示した。また、ドイツ向けはエネルギー価格の上昇などにより、天然ガスと原油・石油製品の急増ぶりが目立った。天然ガスはこれまでほとんど輸出がなかったが、初めてドイツ向け輸出額の5.1%を占め、原油・石油製品は前年比2.2倍の伸びを示し4.6%を占めた。スウェーデン向けは最大の品目である原油・石油製品(21.6%)が11.0%増と大幅に増加したほか、雑製品(5.6%)が14.7%増、医薬品(5.2%)が30.5%増と大幅に増加した。英国向けは最大の輸出品目である原油・石油製品(17.3%)は1.4%減少した。為替レートが英国ポンドに対してデンマーク・クローネ高で推移したため、輸出货量そのものが減少した影響が大きく、数量ベースの統計では原油・石油製品は28.4%減となっている。以下、肉

表1 デンマークの主要品目別輸出入

	輸出(FOB)				輸入(CIF)			
	2009年		2010年		2009年		2010年	
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
食料品	85,377	91,150	16.7	6.8	47,284	53,148	11.2	12.4
肉製品	27,042	28,444	5.2	5.2	7,395	8,527	1.8	15.3
原材料	17,916	24,146	4.4	34.8	11,863	15,214	3.2	28.2
鉱物性燃料	44,493	53,774	9.9	20.9	31,271	38,110	8.0	21.9
原油・石油製品	33,992	41,058	7.5	20.8	25,502	32,313	6.8	26.7
化学品	76,288	88,417	16.2	15.9	50,455	56,195	11.8	11.4
医薬品	42,503	51,842	9.5	22.0	17,654	20,393	4.3	15.5
原料別半製品	51,249	49,380	9.1	△ 3.6	62,119	67,995	14.3	9.5
鉄鋼	6,110	7,005	1.3	14.6	11,404	14,002	2.9	22.8
非鉄金属製品	2,644	2,963	0.5	12.1	4,893	6,135	1.3	25.4
機械類	126,790	135,642	24.9	7.0	149,235	149,005	31.4	△ 0.2
一般機械	33,912	36,798	6.8	8.5	23,348	23,689	5.0	1.5
発電機	22,311	21,045	3.9	△ 5.7	9,434	8,103	1.7	△ 14.1
電気・電子機器	17,750	20,567	3.8	15.9	21,679	24,797	5.2	14.4
道路輸送機器	11,501	12,169	2.2	5.8	24,131	29,205	6.2	21.0
通信機器	9,006	9,893	1.8	9.8	17,737	18,206	3.8	2.6
その他輸送機器	7,742	6,905	1.3	△ 10.8	25,918	16,639	3.5	△ 35.8
雑製品	77,686	85,465	15.7	10.0	71,225	79,549	16.8	11.7
衣料・繊維製品	19,022	21,961	4.4	12.9	21,171	23,894	5.0	12.9
家具	11,432	11,423	2.1	△ 0.1	7,243	8,224	1.7	13.5
合計(その他含む)	495,577	544,251	100.0	9.8	437,998	474,862	100.0	8.4

[注] 表2、9とも、EU域外貿易は通関ベース、EU域内貿易はインボイスベース。

[出所] 表2、9とも、デンマーク統計局。

表2 デンマークの主要国・地域別輸出入

	輸出(FOB)				輸入(CIF)			
	2009年		2010年		2009年		2010年	
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
EU27	327,728	350,581	64.4	7.0	307,685	336,394	70.8	9.3
ユーロ圏	196,846	207,713	38.2	5.5	201,468	215,270	45.3	6.9
ドイツ	85,607	91,512	16.8	6.9	92,690	97,980	20.6	5.7
オランダ	22,861	24,471	4.5	7.0	30,796	33,970	7.2	10.3
フランス	20,631	22,677	4.2	9.9	15,203	15,900	3.3	4.6
イタリア	14,992	15,550	2.9	3.7	15,274	16,248	3.4	6.4
非ユーロ圏	130,883	142,868	26.3	9.2	106,218	121,124	25.5	14.0
スウェーデン	63,666	73,291	13.5	15.1	57,758	63,688	13.4	10.3
英国	41,970	42,932	7.9	2.3	24,297	28,390	6.0	16.8
ポーランド	12,228	13,196	2.4	7.9	11,345	14,110	3.0	24.4
米国	31,019	35,621	6.5	14.8	15,176	15,056	3.2	△ 0.8
ノルウェー	31,423	34,231	6.3	8.9	23,228	18,611	3.9	△ 19.9
中国	11,475	13,402	2.5	16.8	28,780	35,967	7.6	25.0
日本	10,038	10,654	2.0	6.1	2,283	2,211	0.5	△ 3.2
ロシア	8,267	9,721	1.8	17.6	4,755	6,561	1.4	38.0
韓国	3,103	3,865	0.7	24.6	2,929	2,641	0.6	△ 9.8
ブラジル	2,141	3,193	0.6	49.1	1,724	2,640	0.6	53.1
インド	2,075	2,702	0.5	30.2	3,683	4,115	0.9	11.7
合計(その他含む)	495,577	544,251	100.0	9.8	437,998	474,862	100.0	8.4

製品(11.8%)が0.5%増、発電機(7.5%)が6.9%減といずれも不振だった。そのほか、米国向け(6.5%)は医薬品(28.8%)が36.2%増と大幅に伸びたことから14.8%増。中国向け(2.5%)は医薬品(13.4%)が20.3%増、発電機(9.6%)が17.3%増など好調で16.8%増。ロシア向け(1.8%)は一般機械(14.6%)が57.7%増、肉・同調整品(14.0%)が17.1%増、医薬品(12.2%)が20.4%増と主要品目が好調だったことから17.6%増。韓国向け(0.7%)は一般機械、金属製品、発電機、特殊産業用機械が主な

品目で 24.6%増。このように、欧州域外の国への輸出は大幅に拡大した。2011 年 7 月に EU 韓国自由貿易協定 (FTA) の暫定適用が開始されたことから、デンマーク産業連盟では、今後は韓国も主要な輸出相手国になると期待している。

輸入を品目別にみると、構成比 31.4%を占める最大品目の機械類が 0.2%減少した以外は軒並み増加した。機械類減少の理由は前年に輸送船や石油掘削用プラットフォームなどで金額が大きかった「その他輸送機器」(3.5%)が 35.8%減と激減したためである。その一方で、個人消費の回復を反映して、道路輸送機器(6.2%)は 21.0%増、電気・電子機器(5.2%)も 14.4%増と大幅に増加した。機械類に次いで金額が大きい雑製品は内需の回復に伴い、衣料・繊維製品(5.0%) 12.9%増、家具(1.7%) 13.5%増などにより、11.7%増の伸びとなった。また、原料別半製品(14.3%)が 9.5%増、原材料(3.2%)が 28.2%増、原油・石油製品(6.8%)が 26.7%増など、価格上昇と金融危機後の経済活動の活発化により大幅増となった。

国・地域別にみると、輸出同様、EU27 が最大で全体の 70.8%を占め、9.3%増だった。国別ではドイツ(20.6%)が最大で 5.7%増、2位はスウェーデン(13.4%)で 10.3%増となり、中国が 3 位(7.6%)の 25.0%増となった。ドイツからの輸入品目は金額の多い順に道路輸送機器(10.5%)が 19.4%増、一般機械(7.3%)が 1.6%減、電気・電子機器(6.9%)が 5.4%増だった。スウェーデンからの最大輸入品目は通信機器(10.5%)で 19.8%増、次いで原油・石油製品(8.9%)が 52.7%増、道路輸送機器(8.3%)が 11.5%増と続いた。ドイツ、スウェーデンとも構成比が突出した品目はなく、多岐にわたった。3位の中国は衣類・繊維製品(24.7%)が 17.4%増、雑製品(10.1%)が 25.8%増、電気・電子機器(6.8%)が 47.5%増、家具(6.8%)が 43.8%増など消費材を中心に大幅増となった。

表 3 デンマークの業種別対内直接投資
＜国際収支ベース、ネット、フロー＞

(単位: 100 万 Dkr)		
	2009 年	2010 年
農業・水産業・鉱業	△ 4,400	4,000
製造業	6,400	10,800
食品	5,900	3,700
石油精製・化学・プラスチック	400	1,200
金属・機械	600	1,100
情報・通信	3,900	21,300
ビジネスサービス	1,200	1,500
不動産	△ 6,900	900
保険	500	400
商業・運輸	9,500	△ 5,200
金融	1,700	△ 26,400
持ち株会社	△ 200	△ 27,900
合計(その他含む)	11,200	8,300

〔注〕表 4.6.7 とも、再投資収益含む。2010 年は速報値。

〔出所〕表 4.6.7 とも、デンマーク中央銀行。

このほか、ポーランド(3.0%)は電気・電子機器(8.9%)が 18.6%増、一般機械(7.1%)が 44.9%増などとなったことから、24.4%増と大幅増となった。ロシアも輸入品の 50.0%を占める原油・石油製品が 68.6%増と急増し、鉄鋼(24.7%)が 2.3 倍、石炭(11.8%)が 21 倍と増加したことから 38.0%増と急増した。

■引き揚げ多く対内直接投資はやや減少

2010 年のデンマークの対内直接投資額(国際収支ベース、ネット、フロー)は、83 億 Dkr で、前年の 112 億 Dkr から減少した。業種別にみると、情報・通信が 213 億 Dkr で最大であり、製造業は 108 億 Dkr となった。金融・関連サービスは、活発な投資活動の一方で引き揚げの動きも多く 264 億 Dkr の引き揚げ超過となった。国・地域別では、EU27 からの投資中心で、特にオランダ、フランス、スウェーデン、英国、ノルウェーからの投資が大きかった。

2010 年の主要投資事例をみると、3 月にノルウェーの生命保険会社ゲンシディエグがニュー・クレジット保険を 25 億 Dkr で買収した案件が最大の案件だった。このほか、10 月に米国の B/E エアロ・スペース(航空関連ビジネス)が航空部品製造を行うサティアの OEM 部門を 1 億 6,200 万ドルで買収した。また、12 月には、英国の BAE システムズ(航空・防衛機器・安全保障システム)が、ETI テレコム(情報保護システム)を 12 億 Dkr で買収した事例も大型事例だった。業種別で最も金額が大きい情報・通信部門では、米国の案件が多く、2010 年 7 月にビジネスソリューションを提供するデルテックが同業のマコノミーを買収したのが代表的な事例だ。このほか、目立った案件としては、食品部門で 12 月にフィンランドの公営アルコール飲

表 4 デンマークの国・地域別対内直接投資
＜国際収支ベース、ネット、フロー＞

(単位: 100 万 Dkr)		
	2009 年	2010 年
欧州	△ 4,400	3,700
EU27	21,300	1,300
ユーロ圏	9,300	△ 8,500
オランダ	△ 3,800	10,200
フランス	200	8,300
イタリア	0	100
ドイツ	7,800	0
ベルギー	0	0
非ユーロ圏	12,000	9,800
英国	1,100	3,600
スウェーデン	10,900	6,100
ノルウェー	△ 1,300	2,000
スイス	500	700
ロシア	0	0
米国	△ 2,800	3,500
アジア	0	0
日本	0	△ 200
韓国	0	0
中国(香港除く)	0	0
合計(その他含む)	11,200	8,300

表 5 デンマークの主な対内直接投資(2010年)

買収・投資企業(業種)	買収企業の国籍	被買収・投資先企業	金額	時期
ゲンシディーゲ(生命保険)	ノルウェー	ニュー・クレジット保険(保険)	25億Dkr (約3億3,600万ユーロ)	3月
BAEシステムズ (航空・防衛機器・安全保障)	英国	ETIテレコム(情報保護システム)	12億Dkr (約1億6,000万ユーロ)	12月
シーメンス(電機)	ドイツ	A2 SEA(風力発電機設置, 株式49%を取得)	8億6,000万Dkr (約1億1,500万ユーロ)	6月
B/E エアロスペース(航空機用備品)	米国	サティア(航空機部品)	1億6,200万ドル	10月
アルティア(食品)	フィンランド	仏ベルノ・リカール(飲料・酒類)傘下の食品ブランド	n.a.	12月
ナヴィエラス・ウルトラガス(海運)	チリ	アイゼン・バルク・ SHIPPING(海運, 株式74.33%を取得)	9,291万ドル	6月
デルテック(IT, ソフトウェア)	米国	マコミー(IT, ソフトウェア)	n.a.	7月
ゼリア新薬工業(医薬品)	日本	バイオファック(コンドロイチン原料, 株式85%を取得)	3,230万ユーロ	9月
アブライドマイクロサーキット(IT)	米国	TPACK(集積回路)	3,200万ドル+α	9月
サーマックス(エンジニアリング)	インド	ダNSTOORカー(ボイラー)	2,950万ユーロ	9月

[注] Dkr 建ての取引については1ユーロ=7.4473Dkr(2010年の平均レート)で換算し、()内にユーロ建てで表示。

[出所] 表8とも各社発表および各種報道資料を基にジェトロ作成。

料製造販売のアルティアがフランスの酒造大手ペルノ・リカールからノーリュクスなどデンマークとスウェーデンにまたがる酒および食品ブランドおよび販売網をまとめて買収した案件、9月に同じくフィンランドの食品小売り大手HK スキャンが食肉処理のローズ・ポーターを買収した案件があった。また、商業・運輸部門では6月にチリのナヴィエラス・ウルトラガス(海運)がアイゼン・バルク・ SHIPPING(海運)の株式74.33%をノルウェー海運カミロ・アイゼンから買収(9,291万ドル)した案件があった。金融部門ではノルウェー最大の金融機関であるDnB ノールがドイツのノルドドイチェンランドスバンク・ギロツェントラーレを10月に買収したのに伴い、同行と共同保有していたデンマーク法人DnB ノード(銀行)を12月に完全子会社化した案件が大型だった。

一方、服飾・小売り業界では撤退が相次いだ。スペインのファスト・ファッション大手ザラが進出済みの4店舗のうち2店舗を閉鎖した。同じくスペインの若者向け衣料チェーンマンゴがコペンハーゲンのフラッグショップを閉鎖、ノルウェーの男性衣料チェーン、ドレスマンがデンマークにあった20店舗のうち17店舗を閉鎖した。

■エネルギー、医薬品部門で活発な対外投資

2010年の対外直接投資額は97億Dkrで前年の457億Dkrから大幅に縮小した。情報・通信部門で引き揚げ額が大きかったほか、製造業の投資が減少したことによる。しかし、エネルギー、医薬品部門では活発な投資がみられた。2010年の大型案件としては、2010年3月にA.P.モラー・マースク(海運, エネルギー)が米国企業のディーボン・エナジー(石油)の保有するメキシコ湾ジャック油田の石油採掘権を買収した案件が最大案件となった。買収額は3億ドルだが4億ドルの初期投資とさらなる追加投資が必要で、総額では10億ドルを上回るとされている。製

薬会社による買収も活発で、2010年3月にはノボノルディスク(糖尿病・血友病薬)が英国のアルキメデス・ファーマ(がん患者用痛み止め)の株式の約半数を6,500万英ポンドで取得したのをはじめ、7月にALK アベロ(抗アレルギー薬, ワクチン)が、オランダのアーツ・バイオリジカルズの抗アレルギー薬部門を1,960万ユーロで買収した案件などが挙げられる。商業・運輸部門では、2010年7月、DFDS(海運)がオランダのノーフォークライン(同)を25億7,500万Dkrで買収した案件がみられた。

対外直接投資を国・地域別にみると、EUが大半を占めており、中でも隣国スウェーデンへの投資が52億Dkrと大きい。2010年はスイスからの引き揚げが目立った。これは、2010年2月に通信サービス大手TDCが傘下のスイスのサンライズを英国およびルクセンブルクの投資ファンドCVCキャピタルパートナーズに33億スイス・フランで売却した影響が大きい。サンライズはTDCが唯一、北欧以外に保有する企業だったが、売却により北欧市場に経営資源を集中させることになった。

■対日貿易黒字がさらに拡大

デンマークと日本の貿易は、日本への輸出が日本からの輸入を大幅に上回る状況が続いている。2010年のデンマークの対日貿易(通関ベース)は、輸出が前年比6.1%増の106億5,400万Dkrで、輸入は3.2%減の22億1,100万Dkr、対日貿易黒字は前年の77億5,500万Dkrから84億4,300万Dkrへと拡大した。

対日輸出を品目別にみると、最大品目は例年通り肉製品(構成比33.8%)で5.8%増と好調だった。対日輸出全体の41.1%を食料品(6.4%増)が占めている。デンマーク食肉連盟によれば、日本はデンマークにとって加工用冷凍豚肉の最大の輸出先だが、日・メキシコ経済連携協定が締結されて以来、メキシコ産の豚肉との競争が激しく

表6 デンマークの業種別対外直接投資
 <国際収支ベース、ネット、フロー>

	(単位: 100 万 Dkr)	
	2009 年	2010 年
農業・水産業・鉱業	△ 3,500	1,700
製造業	42,200	28,500
食品	36,500	8,000
石油精製・化学・プラスチック	△ 600	300
金属・機械	1,700	1,800
商業・運輸	△ 4,800	△ 6,200
情報・通信	△ 5,700	△ 16,900
金融	0	15,700
持株会社	△ 1,600	10,800
保険	2,200	1,600
不動産	800	△ 700
ビジネスサービス	200	1,300
合計(その他含む)	45,700	9,700

なっているという。次に多い品目は、医薬品(24.9%)で、2.0%増と堅調な伸びを示した。機械類(12.4%)は、一般機械(2.7%)の 8.3%減などもあったが、中古船・貨物船販売でその他輸送用機器(3.0%)が前年の 2.8 倍の伸びとなったことから、機械類全体で 11.7%増となった。

対日輸入は全体の半分を機械類(構成比 44.9%)が占めているが、前年に引き続き減少し 7.9%減となった。前年は景気低迷による内需不振によるものだが、2010 年は円高の影響が大きかったとみられる。機械類の中でも構成比 10.7%を占め、最大の輸入品目である道路輸送用機器は 3.9%増にとどまった。円高などにより、日本車のシェアが 2009 年の 25%から 2010 年には 19%に落ちた。そのほか、通信・映像・録音機器(6.2%)が 20.0%減、また、船舶などその他輸送用機器(0.6%)が 92.5%減と大幅減となったことが、機械全体の減少につながった。

2010 年の日本からデンマークへの直接投資は、2 億 Dkr の引き揚げ超過となった。大型案件として、2010 年 10

表7 デンマークの国・地域別対外直接投資
 <国際収支ベース、ネット、フロー>

	(単位: 100 万 Dkr)	
	2009 年	2010 年
欧州	△ 3,500	△ 25,400
EU27	45,600	16,000
ユーロ圏	△ 2,600	6,100
ドイツ	2,000	2,200
オランダ	△ 1,500	1,600
フランス	900	1,300
ベルギー	△ 3,800	1,100
イタリア	△ 100	△ 200
非ユーロ圏	48,200	9,900
スウェーデン	42,400	5,200
英国	4,700	900
ノルウェー	△ 1,900	2,800
スイス	500	△ 29,900
ロシア	△ 2,600	200
米国	△ 4,200	7,300
アジア	4,100	1,700
日本	0	400
韓国	0	△ 400
中国(香港除く)	3,300	2,400
インド	300	1,100
合計(その他含む)	45,700	9,700

月にゼリア新薬工業が、バイオフィアックの株式 85%を 2 億 4,000 万 Dkr で取得した事例が注目される。バイオフィアックは、医薬品やサプリメントに使用されるコンドロイチン原料の専門メーカーである。IT 分野では、買収額は公表されていないものの、2010 年 1 月に富士通がソフトウェア IQ(財務分析ソフト)を買収した事例が報告されている。

2010 年のデンマークから日本への直接投資は 4 億 Dkr となった。事例としては、10 月に、AVK(バルブ)が、清水工業(同)の株式 40%取得が挙げられる。AVK グループと清水工業は 1992 年から水道管用のソフトシール仕切弁で、ライセンス提携を結んでいるが、清水工業は AVK グループの傘下に入ることが決定した。2010 年の事例とし

表8 デンマークの主な対外直接投資案件(2010 年)

買収企業(業種)	投資対象国	投資内容・被買収企業名	金額	時期
A.P.モラー・マースク(海運、エネルギー)	米国	メキシコ湾ジャック油田探掘権	7 億ドル以上	3 月
DFDS (海運)	オランダ	ノーフォークライン (海運)	25 億 7,500 万 Dkr (約 3 億 4600 万ユーロ)	7 月
ノボルディスク(医薬品)	英国	アルキメデス・ファーマ(医薬品)	6,500 万英ポンド (約 7,600 万ユーロ)	3 月
ウィリアムデマントホールディングス(補聴器)	米国	オーティックス・グローバル(補聴器)	3 億 7,000 万 Dkr (約 5,000 万ユーロ)	11 月
コロプラスト(医療機器)	英国	M パシー・メディカル・サービス(医療機器、技術)	1 億 8,900 万 Dkr (約 2,500 万ユーロ)	10 月
ノボ(ノボルディスクの持ち株会社)	スウェーデン	エアロクライン(測定機器、株式 15.7%を取得)	2 億 2,500 万スウェーデン・クローナ (約 2,400 万ユーロ)	9 月
ヘンペル(塗料)	バーレーン	ダーナペイントME(塗料、株式 26%を取得)	2,525 万ドル	7 月
アルクーアベッコ(医薬品)	オランダ	アーツ・バイオリジカルズ(医薬品)	1,960 万ユーロ	7 月
ケミノバ(農業)	オランダ	イサグロ(農業)のロゴール(有機りん殺虫剤)部門	970 万ユーロ	5 月
クリマインベスト(排出権取引)	フランス	ボラレックス・プレスタン(発電・再生可能エネルギー)	6,500 万 Dkr (約 870 万ユーロ)	3 月

表9 デンマークの対日主要品目別輸出入上位10品目<通関ベース>

(単位:100万 Dkr, %)

	輸出(FOB)					輸入(CIF)			
	2009年		2010年			2009年		2010年	
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
肉・同調製品	3,404	3,602	33.8	5.8	測定・分析・医療機器	268	262	11.8	△ 2.2
医薬品	2,601	2,652	24.9	2.0	道路輸送用機器	228	237	10.7	3.9
測定・分析・医療機器	436	517	4.9	18.6	原動機、内燃機関	140	175	7.9	25.0
その他雑製品	466	444	4.2	△ 4.7	一般機械	152	155	7.0	2.0
乳製品	281	333	3.1	18.5	写真機・光学機器	105	141	6.4	34.3
その他輸送用機器	115	320	3.0	178.3	通信・映像・録音機器	170	136	6.2	△ 20.0
一般機械	313	287	2.7	△ 8.3	特殊取扱品	165	131	5.9	△ 20.6
有機化学品	237	283	2.7	19.4	その他雑製品	83	96	4.3	15.7
魚介類	272	256	2.4	△ 5.9	電気機器・同部品	76	93	4.2	22.4
その他化学品	214	247	2.3	15.4	有機化学品	89	90	4.1	1.1
合計(その他含む)	10,038	10,654	100.0	6.1	合計(その他含む)	2,283	2,211	100.0	△ 3.2

ではこのほか、サイトコア(IT,ソフトウェア)が東京に支社を開設した事例、6月にレオ・ファーマ(血栓・皮膚病治療薬)が日本に支社を設立した事例などがあつた。